

高田公園の名称変更に関する市民説明会

令和元年12月17日(火)・21日(土)

市民交流施設高田公園オーレンプラザ 研修室・会議室



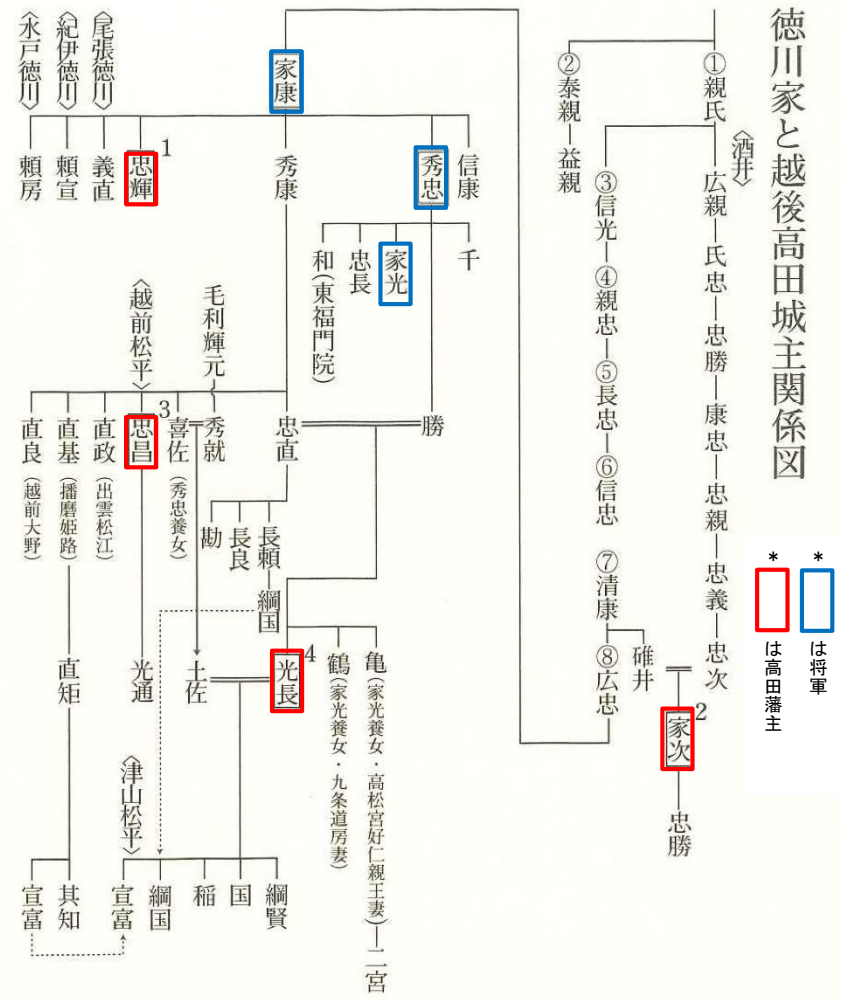
高田と城に関する歴史(1)

- 高田藩は、現在の新潟県の範囲に長野県北信四郡をあわせた広大な領地。
- 高田城は、江戸幕府が国家事業として建設した徳川の城。家康が息子の松平忠輝公に統治を命じた。
- 関東と北陸を結ぶ交通の要地であり、江戸幕府の全国統治における拠点城の一つとなった。



出典：高田開府400年(2014)

開府当時の高田藩の領地



出典：高田開府400年記念特別展
越後の都高田と徳川家康の血族

高田と城に関する歴史(2)

＜古代＞

～奈良時代～



越後国の国府・国分寺が置かれ、
越後における政治・文化の中心だった

＜中世＞

～室町・安土桃山時代～



出典：高田開府400年(2014)

春日山城再現図
(1500年代後半)



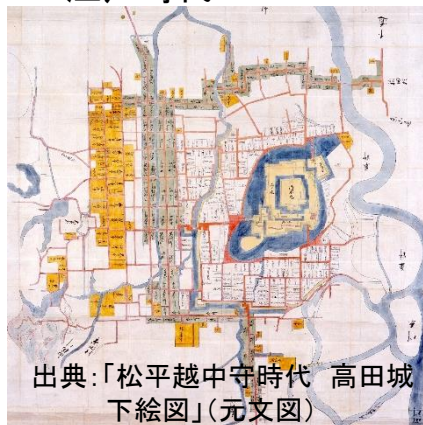
春日山の
上杉謙信公像



林泉寺

＜近世＞

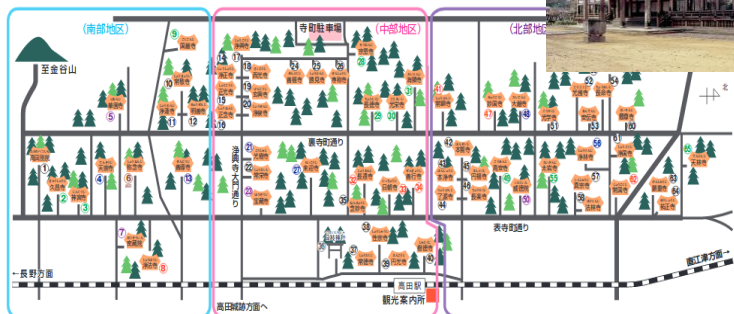
～江戸時代～



出典：「松平越中守時代 高田城
下絵図」(元文図)

城下町高田の古地図

県内最大・最古の真宗本堂
重要文化財浄興寺



出典：上越寺社めぐり高田寺町界隈寺社ガイド
敵の侵略に対する防壁として市内の寺院が集められた寺町

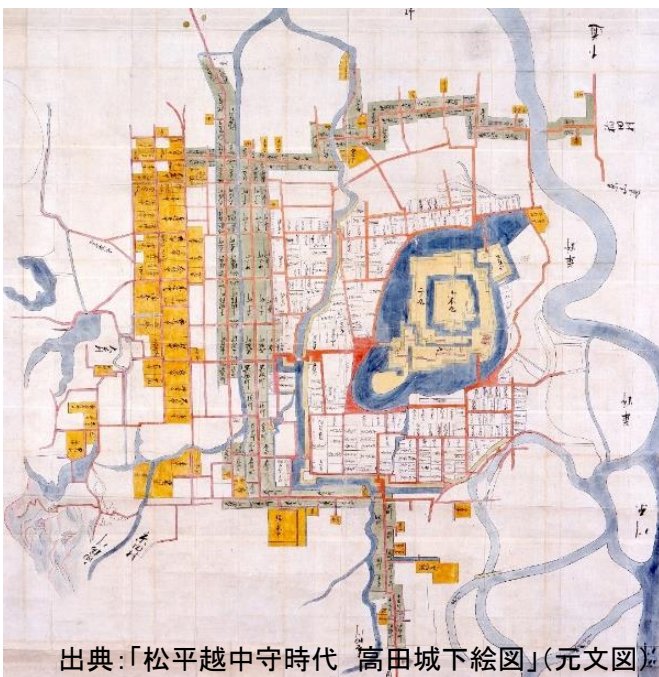


出典：高田開府400年(2014)

春日山城・福島城・
高田城の変遷

高田公園の歴史(1)

- 1614年（慶長19年） 徳川家康の命により江戸幕府が高田城を築城
- 1890年（明治23年） 旧藩主榊原家が高田城址及び周辺地域を買い上げ、旧藩士族の殖産興業として利用
- 1907年（明治40年） その土地を再び高田町が買い上げ国に献上し、陸軍第13師団を誘致（城跡に約2,200本の桜を植樹）
- 1925年（大正14年） 師団廃止。その後も陸軍の連隊によって利用



出典：「松平越中守時代 高田城下絵図」(元文図)

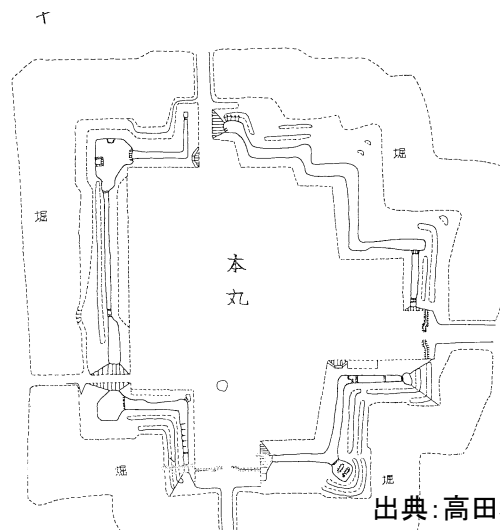
江戸時代の高田城下町



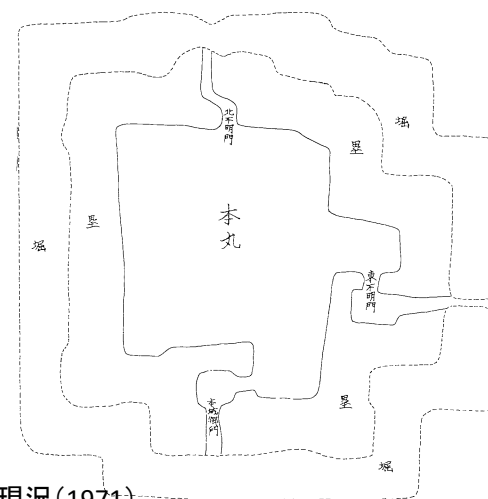
出典：高田開府400年(2014)

第13師団兵営

- 1949年（昭和24年）
 - ・旧師団司令部に新潟大学高田分校芸能学科を誘致
 - ・高田市営野球場完成（以後、テニスコートや陸上競技場などの運動施設が次々に完成）
- 1950年（昭和25年） 高田市の都市公園第1号として供用開始
- 1954年（昭和29年） 約50haの公園全体が、新潟県の指定文化財（史跡）に指定（全長約1kmにも及ぶ土塁が現存）
- 1959年（昭和34年） 高田公園護岸第一期工事完了
- 1975年（昭和50年） 大噴水完成



高田城本丸土塁・内堀測量図



明治41年陸軍建築部作成図（本丸）

出典：高田城本丸の現況（1971）

- 1990年（平成 2年） 公益財団法人日本さくらの会が『さくらの名所100選の地』に選定
- 1993年（平成 5年） 三重櫓を再建
- 2002年（平成14年） 極楽橋を復元
- 2006年（平成18年） 都市公園法施行50周年等記念事業実行委員会が『日本の歴史公園100選』に選定
- 2017年（平成29年） 公益財団法人日本城郭協会が『続日本100名城』に認定



三重櫓の再建



極楽橋の復元

《将来都市像》

すこやかなまち ～人と地域が輝く上越～

<土地利用構想>

■各都市拠点の整備の考え方

高田駅周	<ul style="list-style-type: none"> ・雁木や寺町などの歴史的なまちなみを有し、多様な都市機能⁸が集積している特徴を踏まえ、既集積している都市機能やまちの歴史的価値をさらに高める観点から必要な都市機能の集積や歴史的まちなみの保存・活用を促進します。 ・また、歴史文化などの地域資源を活用したまちなかの回遊性の向上や、空き店舗などの既存ストックの活用などにより賑わいの向上を図ります。
直江津駅周	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道が結節する交通の要衝としての特徴や、新水族博物館の建設予定を踏まえ、既存の都市機能に加え、商業、交流機能などの立地を促進し、鉄道沿線地域の拠点となるまちを目指します。 ・また、歴史を感じさせるまちなみや日本海を一望できる景観などの個性的な資源を活用するとともに、近隣にある直江津港の存在を踏まえ、新水族博物館の建設など市内外からの交流促進に寄与する機能の充実を図ります。
春日山駅周	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所や文化会館などの公共施設が集積している特徴を踏まえ、行政、文化・スポーツなどの都市機能の集積や、上杉謙信ゆかりの春日山への玄関口であることをいかし、文化・交流の拠点となるまちを目指します。

<都市基盤分野の関連施策>

基本政策	基本施策	施策の柱
魅力的な空間の形成	地域の個性をいかした空間形成	自然と調和した都市空間の形成

- ・市民の安らぎや交流の場を形成するため、市民の緑化に関する意識を啓発し、主体的な取組を支援するなど、自然と調和した都市空間づくりと安全面等に配慮した公園整備に取り組めます。
- ・少子高齢化等に伴う公園の利用者の減少を踏まえ、施設の集約と民間活力の積極的な活用により効率的かつ効果的な公園運営に取り組めます。
- ・高田公園の魅力向上を図るため、桜の保護や育成、施設機能の充実などを計画的に進めるとともに、ボランティア団体と連携した桜の保護管理活動に取り組めます。

- 高田公園の魅力向上を図るため、桜の保護や育成、施設機能の充実など計画的な整備に取り組む。
- 高田公園基本計画では、この公園を当市の「交流」、「歴史」、「観光」における拠点施設とし、それぞれに相応しい公園機能の充実を図る中で、内堀および内堀に囲まれたエリアを「歴史ゾーン」と位置づけ、市民が誇れる高田城の佇まいを保全し、歴史を偲ばせる整備を行う方針としている。
- このエリアでは、これまでに史跡を紹介するサインを設置したほか、本丸土塁を保全するための護岸整備を行っている。

■概要



■内堀護岸整備



高田城の特徴のひとつである本丸土塁を年々進む浸食から保全するため護岸整備を行っている。

■桜の保護や育成



高田公園桜長寿命化計画を策定し50年100年先を見据えた計画的な世代更新と生育の健全化に取り組んでいる。

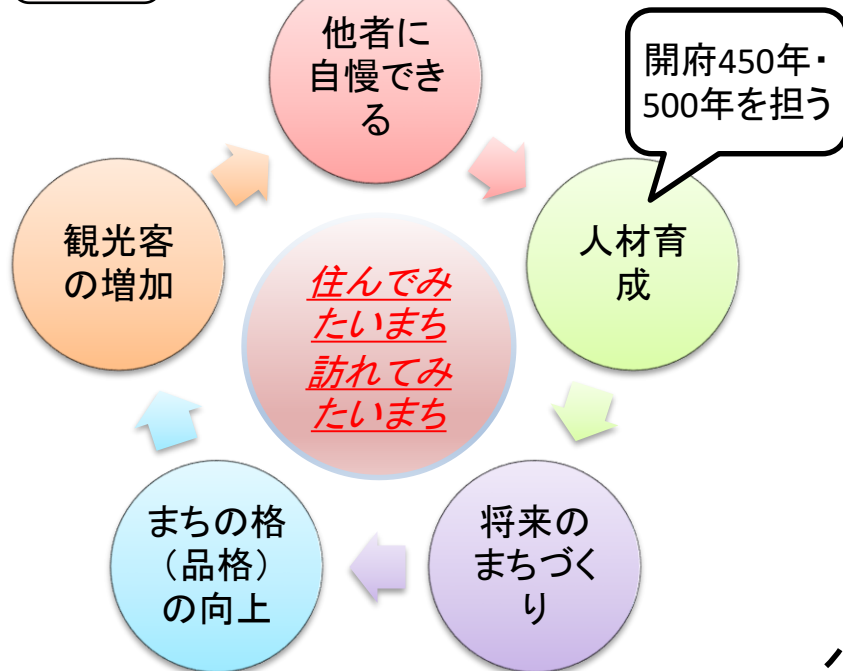
名称変更の意義と効果

意義

1. 自分のまちの成り立ちを知るきっかけ
2. 自分のまちに対する理解を深める
3. 自分のまちに誇りと愛着を持つ

刺激

効果

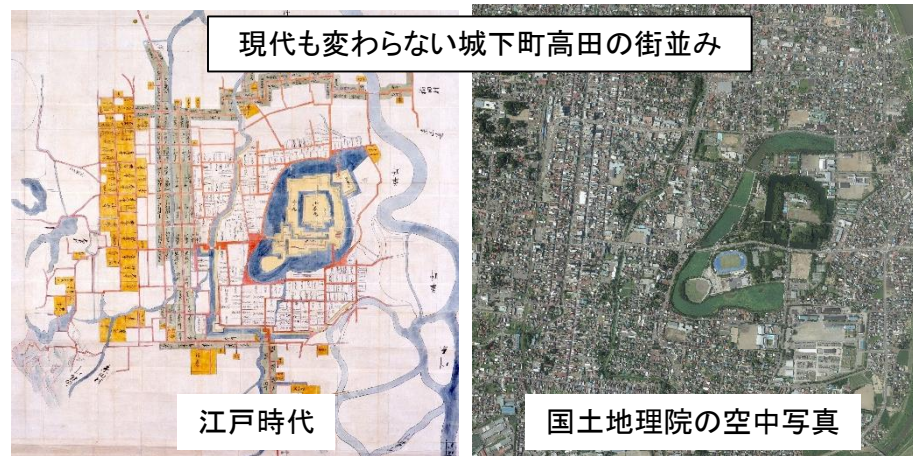


効果

地域再生計画(内閣府認定)

城下町高田の歴史・文化をいかした『街の再生』
～コンパクトシティによるまちづくり～

■ 貴重な歴史・文化資産を活用したまちづくり



出典:「松平越中守時代 高田城下絵図」(元文図)



活用

- ✓ 歴史・文化資産を通じた、際立つまちの個性
- ✓ 都市拠点としての機能と魅力の向上

地域再生計画 城下町高田の歴史・文化をいかした「街の再生」

○ 市民団体等のまちづくり機運の高まりを受け、市では、地域再生法に基づく地域再生計画を作成し、地方創生に向けた各種取組を一体的に推進。地方創生に向け、市と民間団体が協働で、「定住人口の促進」や「交流人口の拡大」を目指している。

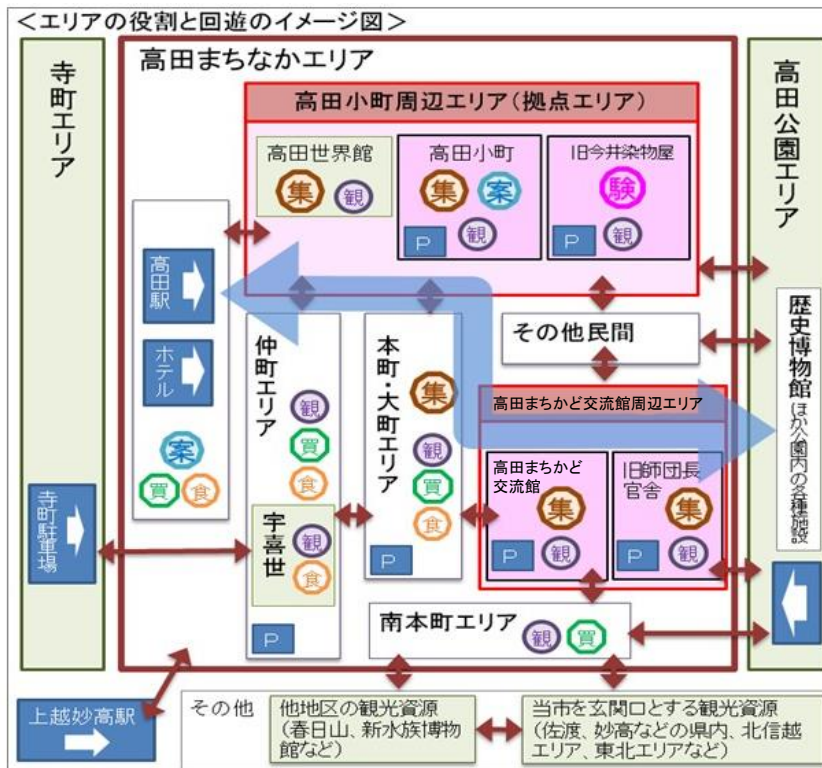
■ 地域再生計画の概要

● 計画期間：平成28年度～令和2年度（5か年） ● 計画の目標：「住んでみたいまち、訪れてみたいまち」の実現

■ 「街なか回遊観光」を軸とした事業推進方策



高田小町



まち歩きのメインルート：
高田駅～本町商店街～高田公園



旧金津憲太郎桶店



旧今井染物屋



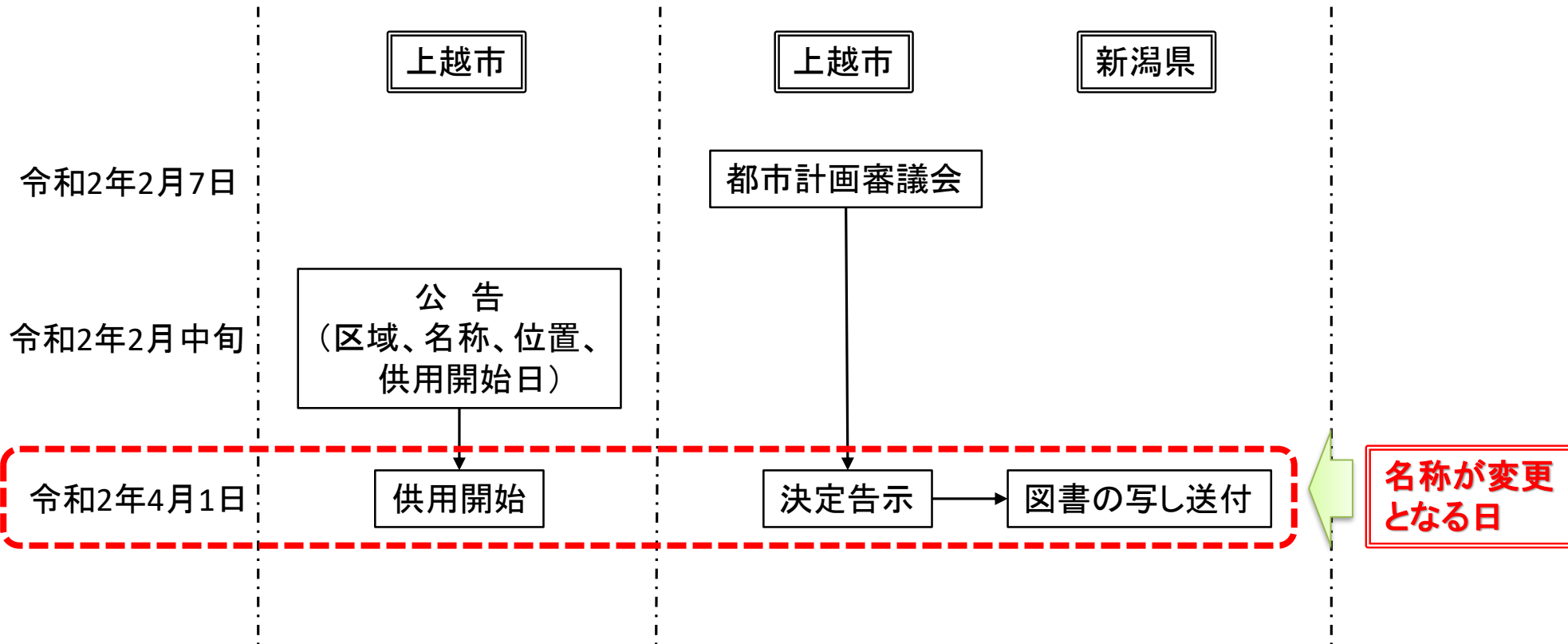
高橋孫左衛門商店

今後の予定

●関係法令に基づく手続き

《都市公園法に基づく手続き》

《都市計画法に基づく手続き》



●関係条例等の改正

- ・令和2年市議会3月定例会で審議

高田公園内にある銘板

- 公園内にある園銘板は、令和2年4月1日までに改修し、「高田城址公園」に変更



極楽橋付近の銘板



噴水付近の銘板

名称変更に伴う影響(案内表示や刊行物など)

主要な路線の案内表示

- ・主要な路線の案内表示については、関係機関と調整してできるものから早急に対応



--- 主要な路線

その他の案内表示や刊行物など

- ・ 時間的・経費的観点から、短期間での更新は行わない。
- ・ 既に作成したものが無くなり、新たに作成する時点などをもって対応する。

「高田城址公園」への名称変更に関しては、市として必要かつ効果的な取り組みを行ってまいりますが、説明してまいりました名称変更の意義や効果を十分なものとするためには、市民の皆さんのご理解とご協力もあわせて必要であり、市民お一人おひとりが自分のこととして捉え、自分のまちの成り立ちを知り、自分のまちに対する理解を深め、自分のまちに誇りと愛着を持てるような行動をしていくことが重要であると考えております。

